



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER
4

仙台うみの杜水族館

海獣ふれあいチーム 寺沢 真琴さん

うみの杜水
UMINOMORI AQUARIUM



私は水族館で主にイロワケイルカの飼育員をしています。水族館の生きものを通して野生の生きものや海への興味に繋がること、お客さまと生きものたちの架け橋となることが目標です。飼育員は調餌・給餌・掃除の3つの「じ」が主な仕事ですが、イベントを通して情報を伝えることも重要な仕事です。



今日も元気
いっぱいだね!

私が仕事で特に大切にしていることは「観察」です。生きものたちの体調は問題ないかな? 怪我はしていないかな? と水槽の前に行って観察をしながらコンディションをチェックします。話ができない分、観察をすることで生きものたちの情報を収集するのです。

そんな私が水族館で好きな場所はイロワケイルカの水槽の前です。イルカたちが元気に過ごしている姿をみるとホッと安心すると同時に嬉しい気持ちになります。観察をしているとイルカが遊びに来てくれることもあります。手を大きく振ったりぐるぐる回したり、変な動きほど興味を持ってくれます。遊ぶ時は恥ずかしがらずにやることもポイント。特に午前中や夕方の時間に遊んでくれます。イルカたちとぜひ遊んでみてくださいね!

これからのイベント ~3月18日(日) Share Love UMINOMORI AQUARIUM



SMMAとは

知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを蓄積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるおきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけのウェブサイトです。

www.smma.jp



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内) 電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp 編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2018年2月21日 掲載の記事・情報は発行日の段階のもので、この紙はリサイクルできます

2018 春号 旬の見験楽学 便

てくてく 国見~子平町~八幡界限
春のお散歩MAP



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT 仙台文学館

4月上旬まで開催されている企画展「井上ひさしの国語教室」では直筆資料や蔵書を通して、「読むことと書くこと」、「日本語」といったテーマに、劇作家・小説家の井上ひさしがどのように向き合い発信し続けたのかを紹介しています。春は周囲の森林の新緑も楽しめる季節。自然豊かな環境の中で、ゆったりとしたひとときを過ごしてください。



図 仙台市青葉区北根2-7-1 ☎ 022-271-3020 図 9:00~17:00(展示室入室は16:30まで) 図 月曜(祝日の場合は開館)、休日の翌平日、1~11月の第4木曜 図 一般460円、高校生230円、小・中学生110円

ひさしの杜

ピザやカレー、うどんなどの定番メニューのほか、週替わりランチを提供。厳選した豆を使って丁寧に淹れたコーヒーをはじめとしたドリンクやデザートも充実しています。企画展に合わせた特別メニューが登場することも。外光がたっぷり降り注ぐ気持ちのいい空間でお茶を楽しみながら、読書に興じるのもおすすめです。



図 10:00~16:00(ラストオーダー 15:30)



◀「週替わりランチ」(ドリンク付) 1000円 画像の「ロコモコ丼」は一例。週替わりランチではご飯メニュー、パンメニューの2種から選ぶことができます



▲「ガトーショコラ」300円(ドリンクセットは500円) しっかりと、濃厚な味わいの本格派ケーキは人気のデザート

ミュージアムショップ

入館受付脇のショップスペースでは、ここでしか購入できないオリジナルグッズをはじめ、文学館の講座にちなんだ冊子や館の刊行物を販売しています。



▲「吉里吉里人ハーフ手ぬぐい」463円 安野光雅が描いた井上ひさし「吉里吉里人」の装画をもとにしたオリジナル手ぬぐい

▶「仙台 本のはなし 24人をつくりました」1296円 2009年~2010年に開催した「仙台文学館ゼミナール 本作りワークショップ」の参加者が制作した本。仙台ゆかりの人物とが人生の一冊を選んだ「101人わたしの一冊」のような企画のほか、熊谷達也さんのインタビューなどを掲載



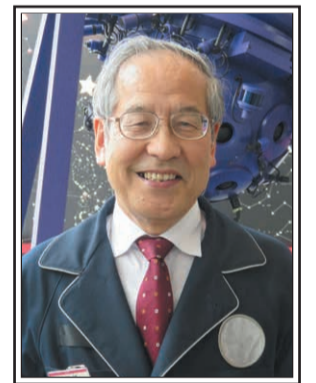
◀「革工房まつたブックマーク」各1100円~1300円程度 色、柄、形が一つひとつ異なる、全部一点ものしおり。読書のおともにどうぞ

これからのイベント ~4月8日(日) 企画展 「井上ひさし資料特展 Vol.7 井上ひさしの国語教室」



土佐 誠 (1944~)

昭和19(1944)年、東京都生まれ。東北大学卒業後、名古屋大学助手、東北大学助教授・教授を経て、平成20(2008)年定年退職後、仙台市天文台台長に就任し、現在、専門は銀河の理論的研究。理学博士、東北大学名誉教授、元日本天文学会理事長、仙台市市政功労者(教育・文化)。



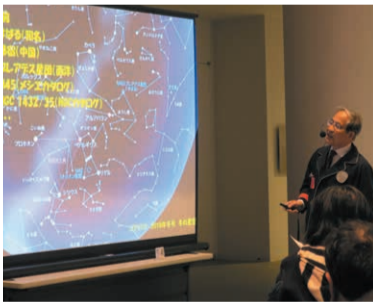
SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

宇宙をもっと身近に。 創意工夫の天文台

「西公園の旧天文台は思い出の場所。中学生がさわられる観測機があったので、学校長期休暇を利用して、東京から足を運んでいたんです」と語るように、少年期から宇宙に興味を持っていた土佐台長。東北大学退職後、天文台の初代台長に。開台後から、民間運営ならではの趣向を凝らしたイベント企画など、さまざまな取り組みで来館者を迎えています。毎週土曜に開催される「トワイライトサロン」では、台長自らが毎回違ったテーマでお話。開台以来、ほぼ毎週欠かさず、今年の6月にはなんと通算500回を数えます。



▲旧仙台市天文台にて。少年時代の土佐台長



▲ホットな天体現象や季節の星座などについてふれる「トワイライトサロン」



▲リニューアルする展示室イメージ

次の10年へ より愛される天文台を目指して 開台から10年目、4月1日に展示室がリニューアル。銀河系をはじめより遠くの宇宙を知る展示や体験広場など、より楽しく・深く宇宙を学べる場が生まれます。「来館者に楽しんでほしいという思いをもって働くスタッフや市民の方に支えられて10年。これからも子どもからシニアまで、幅広い人に愛される天文台にしたい」と少年のような笑顔で語る土佐台長。新生天文台にぞうご期待です。

ここでもっと知る! 仙台市天文台 図 仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32 ☎ 022-391-1300 図 9:00~17:00(土曜は~21:30 ※展示室は~17:00) 図 水曜、第3火曜(祝日の場合は翌平日) ※学校長期休暇期間は無休 ※2018年3月は休館 図 セット券(展示室+プラネタリウム1回)一般1000円、高校生600円、小・中学生400円